

人その友の為に
己の命をすつる
之より大いなる愛はなし
(目八伝第十五章十三節) 萩野吟子が愛唱した聖句

日本初の女医、
社会運動家として、医師として、
女性として、不屈の精神と
大いなる愛に導かれたその生涯

一粒の麦

萩野吟子の生涯

山田火砂子 監督作品



若村麻由美

山本耕史

賀来千香子

佐野史朗

綿引勝彦

渡辺梓

堀内正美

平泉成

山口馬木也

柄本明

齊藤とも子

神太郎

松木路子

神田さち子

神子彩

上野神楽

磯村みどり

小倉一郎

渡辺哲



脚本 重森孝子・来映一洋・山田火砂子

撮影 高間賢治 J.S.C

音楽 渋谷毅

照明 上保正道

録音 沼田和夫

美術 株式会社日映装飾美術

プロデューサー 上野有

製作 株式会社現代ぶろだくしょん

『二粒の麦 荻野吟子の生涯』にかける思い

監督 山田火砂子

皆様、私達女性は戦争に負けて初めて女性解放運動が出来ました。明治時代の封建制度の中「女三従の道」や「女三界に家なし」の女性蔑視社会で、女性は従うしか生きる道がないという教育の中、女性解放運動に尽くした女性がいまいた。その一人が荻野吟子です。吟子は女医という職業をあたえてくれない明治時代に十八年もの間勉学に明け暮れ、日本第一号の女性医師となりました。

彼女は十八歳で結婚し、夫より病気を移され、医師は全て男性だということ、そして、男性医師に自らの体を見せるのが嫌で自殺をしたり、生涯医者にかからず痛みに耐えている女性の多さを知り、自らが女性医師となることを決意します。つい先日、大学医学部の入試における男性有利が問題になっている、私は明治時代にさかのぼったのかと驚きました。どうかこの映画で吟子の一生を観て頂いて考えて頂けましたら、私は大変うれしく思います。

荻野吟子は、この功績が認められ埼玉県の大偉人になりました。その陰で女性解放の為に戦った女性がまだまだたくさんいると思います。私はこの映画をその女性の方々に捧げます。

日本で初めての女医、荻野吟子の生涯

荻野吟子は、現在の埼玉県熊谷市の生まれです。幼き頃より両親が兄たちより頭が良いと感嘆した位に聡明な女の子でした。吟子の生まれた明治時代は男尊女卑の時代です。吟子は女に学問はいらぬと隣村の名主の家に嫁がされてしまいました。さらに、夫から病気をうつされ子どもが産めぬ体になってしまいますが、嫁ぎ先からは子どもの産めぬ嫁はいらぬと実家に帰されます。最初は泣いた吟子でしたが、こんな無情なことはないと立ち上がり、自分と同じ運命で泣いている女性のためにも医者になると決意します。

当時の日本には女性に医者への認可をあたえる制度はなく、吟子は男子の学校

に通い、苦勞に苦勞を重ねて、日本で初めての女医になります。現在の滝乃川学園の前身であった弧女学園は、吟子の家で教育を始めたのです。吟子は、男性社会の中で道なき道を進み、女性の地位向上に生きた人です。彼女は、不屈の精神と大いなる愛「人その友の為に、己の命をすつるは、此れより大いなる愛はなし」(ヨハネ15:13)、この言葉を自分の心に刻みました。自分を甘やかさず命をかけて生きる、この愛に勝るものはなし、と目の前で社会に虐げられた人々や障がいを持って生まれた人々の為に、生涯を捧げました。



2019年9月1日(日)
妻沼中央公民館

【開映】①10:30 ②14:00 ※開場は30分前(予定)

●JR 熊谷駅正面口よりバス(朝日自動車株式会社)で約25分
・「バイパス経由妻沼行き」(5番乗り場)、「妻沼行き」(6番乗り場)に乗り、「ニュータウン入口」で下車し、徒歩約3分。
・「太田駅・西小泉駅・妻沼聖天前行き」(6番乗り場)に乗り、「妻沼下町」で下車し、徒歩約5分。

【前売券】一般:1,400円 / 小中学生:500円

【当日券】一般:1,800円 / 小中学生:500円

※製作協力券にてご入場いただけます。

チケット取り扱い場所

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|
| ① さわた妻沼店 | 熊谷市妻沼 1416 | (☎048-588-0102) |
| ② さわた大福茶屋 | 熊谷市妻沼 1537-2 | (☎048-589-1124) |
| ③ くまがや館 | 熊谷市筑波 1-29 | (☎048-521-4625) |
| ④ 熊谷市市民活動支援センター | 熊谷市曙町 5-67 | (☎048-522-1592) |
| ⑤ 熊谷市観光協会 | 熊谷市宮町 2-95 | (☎048-594-6677) |

お問合せ 現代ぷろだくしょん ☎03-5332-3991